

地方創生先行型事業 有識者評価シート

北海道 白老町

担当部署	企画課(企画グループ)	交付区分	基礎交付
事業名	地方版総合戦略策定に係る調査分析委託事業		

交付金充当額	8,163,138 円
--------	-------------

事業実績 (内容)	4月の「白老町まち・ひと・しごと創生本部」設立後、グループリーダー職員によるワーキングチームを発足し、計画策定に向けた草案作成作業を進めた一方、5月の受託事業者との委託契約締結後、町民および転入・転出者アンケート調査、事業者・NPO法人・子育て団体等への関係者ヒアリングを行い、策定に向けた基礎情報の整理・集約に取り組んだ。 また、産官学金労言など幅広い分野から構成する「有識者会議」からの答申、パブリックコメントの実施及び町議会との調整等を経て、当初の計画に基づく10月中の完成に至った。
--------------	--

KPI	単位	2014 (平26)	2015 (平27)	2016 (平28)	2017 (平29)	2018 (平30)	2019 (平31)	上段：目標値 下段：実績値
1	※KPIの設定なし							
2								
3								
4								
5								

取組と課題	本交付金の活用により、策定作業の円滑化が図れ、当初予定の10月までに人口ビジョンおよび戦略の策定が完了した。これにより、翌年度以降における本町創生の方向性が明確化されたほか、地方創生交付金(上乗せ交付タイプⅠ・Ⅱ)の対象要件を満たしたことで、先行実施事業(3事業)の採択及び実施へと繋がった。
-------	--

翌年度以降の事業の方向性	策定した人口ビジョン・総合戦略に基づき、本町の人口減少および地方創生施策をより効果的に推進していく。
--------------	--

事業の評価	①評価	A：取組事業が、白老町創生の推進(KPIの達成)に向け、成果が十分であった。 B：取組事業が、白老町創生の推進(KPIの達成)に向け、相当程度の成果があった。 C：取組事業が、白老町創生の推進(KPIの達成)に向け、成果がなかった。	→ B
	②評価に係る有識者意見等	<ul style="list-style-type: none"> ◆委託の仕様どおり業務が取組まれたことから、成果があったと評価する。 ◆今後のまちづくりに向けての基礎的な情報が整理・集約できた。また、当初の計画通り、10月中に完成した。 ◆戦略策定のための基礎資料が出来、会議関係も計画的に開催された。 ◆今後の取組について、戦略策定による整理・集約の成果はあったと考える。 ◆地方版戦略策定の完了(10月)、先行型交付金採択へと結びつけた。 ◆本取組により、白老町の地方創生の方向性が明確となった点を評価した。 ◆アンケート・ヒアリングにより、町の現状把握が出来たとともに、10月中の策定により上乗せ事業が実施出来た。 	

事業実績を踏まえた今後の方向性	③今後の方向性	A：事業の成果が十分であったことから、内容の強化等さらに発展させて取り組むべき。【事業拡大】 B：事業の成果が相当程度であったことから、内容を見直し(改善)取り組むべき。【改善し事業継続】 C：事業の成果が相当程度であったことから、現状どおり今後も取り組むべき。【現状どおり事業継続】 D：事業の成果がなかったことから、事業を中止すべき。【事業中止・廃止】	→ B
	④今後の方向性に係る有識者意見等	<ul style="list-style-type: none"> ◆委託業務の成果を基に、各施策を効果的に今後も取り組むべきである。 ◆基礎的情報やアンケート・ヒアリング結果をもう一度整理し、今後のまちづくりに活かす。 ◆戦略を推進するにあたり、緊急性・重要性等を再検討し集中的に取り組む体制の整備が必要と考える。 ◆今後も続くものとして、都度総合戦略の見直しを行い、人口増への取組を強化すべき。 ◆分析結果に基づき、戦略に基づく行動が早急に必要である。 ◆策定された人口ビジョン・総合戦略に基づき推進されたい。 	